

MX900020A 画面表示ソフトウェア 取扱説明書

第2版

- ・製品を適切・安全にご使用いただくために、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。
- ・本書に記載以外の各種注意事項は、MT9082 シリーズ アクセスマスター取扱説明書に記載の事項に準じますので、そちらをお読みください。
- ・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を操作するようにしてください。

下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれるとき、製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 危険 | 回避しなければ、死亡または重傷に至る切迫した危険状況があることを警告しています。 |
|  | 警告 | 回避しなければ、死亡または重傷に至る恐れがある潜在的危険について警告しています。 |
|  | 注意 | 回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る恐れがある潜在的危険、または、物的損害の発生のみが予測されるような危険状況について警告しています。 |

機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに、または本書に、安全上または操作上の注意を喚起するための表示があります。

これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して、注意に従ってください。

- | | |
|---|---|
|  | 禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。 |
|  | 守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。 |
|  | 警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。 |
|  | 注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。 |
|  | このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。 |

MX900020A

画面表示ソフトウェア

取扱説明書

2009年（平成21年）10月9日（初 版）

2012年（平成24年）6月29日（第2版）

- ・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
- ・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。

Copyright © 2009-2012, ANRITSU CORPORATION

Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

保証

- アンリツ株式会社は、本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にもかかわらず、実質的に動作しなかった場合に、無償で補修または交換します。
- その保証期間は、購入から6か月間とします。
- 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は、購入時から6か月以内の残余の期間、または補修もしくは交換後から30日のいずれか長い方の期間とします。
- 本ソフトウェアの不具合の原因が、天災地変などの不可抗力による場合、お客様の誤使用の場合、またはお客様の不十分な管理による場合は、保証の対象外とさせていただきます。

また、この保証は、原契約者のみ有効で、再販売されたものについては保証しかねます。

なお、本製品の使用、あるいは使用不能によって生じた損害およびお客様の取引上の損失については、責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本書(紙版説明書では巻末、CD版説明書では別ファイル)に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は、事前に必ず当社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は、軍事情途等に不正使用されないように、破碎または裁断処理していただきますようお願い致します。

特記事項

本製品に搭載されているすべてのソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

USBドライバのライセンス

USBドライバは GPL/LGPL ライセンスのフリーウェア LibUsb を使用しています。ライセンス条項については、付録の「ソフトウェアライセンスについて」を、ソースファイルについては下記 URL を参照してください。

<http://libusb-win32.sourceforge.net>

ソフトウェア使用許諾

お客様は、ご購入いただいたソフトウェア(プログラム、データベース、電子機器の動作・設定などを定めるシナリオ等、以下「本ソフトウェア」と総称します)を使用(実行、複製、記録等、以下「使用」と総称します)する前に、本ソフトウェア使用許諾(以下「本使用許諾」といいます)をお読みください。お客様が、本使用許諾にご同意いただいた場合のみ、お客様は、本使用許諾に定められた範囲において本ソフトウェアをアンリツが推奨・指定する装置(以下、「本装置」といいます)に使用することができます。

第 1 条 (許諾, 禁止内容)

1. お客様は、本ソフトウェアを有償・無償にかかわらず第三者へ販売, 開示, 移転, 譲渡, 賃貸, 頒布, または再使用する目的で複製, 開示, 使用許諾することはできません。
2. お客様は、本ソフトウェアをバックアップの目的で、1 部のみ複製を作成できます。
3. 本ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止させていただきます。
4. お客様は、本ソフトウェアを本装置 1 台で使用できます。

第 2 条 (免責)

アンリツは、お客様による本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる損害、第三者からお客様になされた損害を含め、一切の損害について責任を負わないものとします。

第 3 条 (修補)

1. お客様が、取扱説明書に書かれた内容に基づき本ソフトウェアを使用していたにもかかわらず、本ソフトウェアが取扱説明書もしくは仕様書に書かれた内容どおりに動作しない場合(以下「不具合」といいます)には、アンリツは、アンリツの判断に基づいて、本ソフトウェアを無償で修補, 交換, または回避方法のご案内をするものとします。ただし、以下の事項に係る不具合を除きます。
 - a) 取扱説明書・仕様書に記載されていない使用目的での使用
 - b) アンリツが指定した以外のソフトウェアとの相互干渉
 - c) 消失したもしくは、破壊されたデータの復旧
 - d) アンリツの合意無く、本装置の修理, 改造がされた場合
 - e) 他の装置による影響, ウイルスによる影響, 災害, その他の外部要因などアンリツの責とみなされない要因があった場合
2. 前項に規定する不具合において、アンリツが、お客様ご指定の場所で作業する場合の移動費, 宿泊費および日当に関する現地作業費については有償とさせていただきます。
3. 本条第 1 項に規定する不具合に係る保証責任期

間は本ソフトウェア購入後 6 か月もしくは修補後 30 日いずれか長い方の期間とさせていただきます。

第 4 条 (法令の遵守)

お客様は、本ソフトウェアを、直接、間接を問わず、核, 化学・生物兵器およびミサイルなど大量破壊兵器および通常兵器およびこれらの製造設備等関連資機材等の拡散防止の観点から、日本国の「外国為替および外国貿易法」およびアメリカ合衆国「輸出管理法」その他国内外の関係する法律, 規則, 規格等に違反して、いかなる仕向け地, 自然人もしくは法人に対しても輸出しないものとし、また輸出させないものとします。

第 5 条 (解除)

アンリツは、お客様が本使用許諾のいずれかの条項に違反したとき、アンリツの著作権およびその他の権利を侵害したとき、または、その他、お客様の法令違反等、本使用許諾を継続できないと認められる相当の事由があるときは、本使用許諾を解除することができます。

第 6 条 (損害賠償)

お客様が、使用許諾の規定に違反した事に起因してアンリツが損害を被った場合、アンリツはお客様に対して当該の損害を請求することができるものとします。

第 7 条 (解除後の義務)

お客様は、第 5 条により、本使用許諾が解除されたときはただちに本ソフトウェアの使用を中止し、アンリツの求めに応じ、本ソフトウェアおよびそれらに関する複製物を含めアンリツに返却または廃棄するものとします。

第 8 条 (協議)

本使用許諾の条項における個々の解釈について疑義が生じた場合、または本使用許諾に定めのない事項についてはお客様およびアンリツは誠意をもって協議のうえ解決するものとします。

第 9 条 (準拠法)

本使用許諾は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。

特記事項

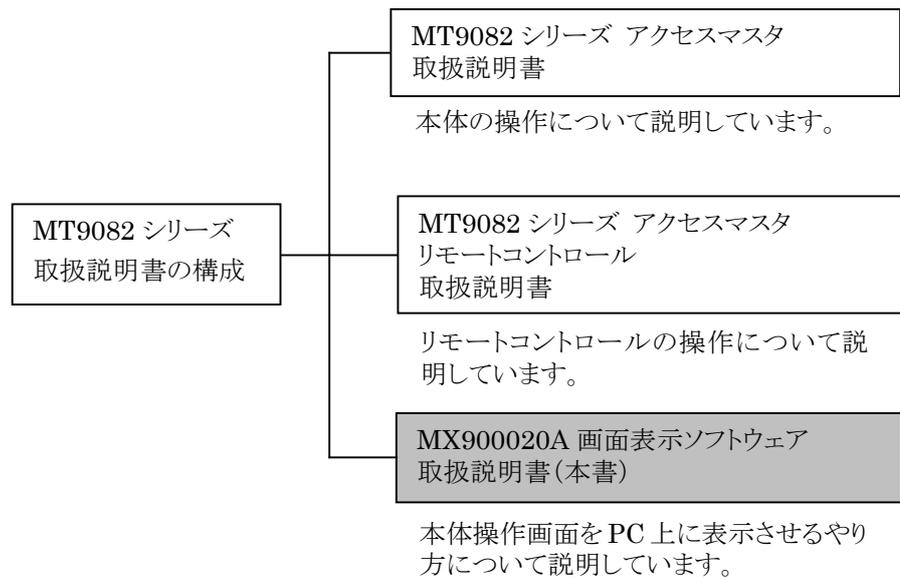
本製品に搭載されているすべてのソフトウェアの解析（逆コンパイル，逆アセンブル，リバースエンジニアリングなど），コピー，転売，改造を行うことを禁止します。

計測器のウイルス感染を防ぐための注意

- ・ ファイルやデータのコピー
当社より提供する，もしくは計測器内部で生成されるもの以外，計測器にはファイルやデータをコピーしないでください。
前記のファイルやデータのコピーが必要な場合は，メディア（USBメモリ，CFメモリカードなど）も含めて事前にウイルスチェックを実施してください。
- ・ ソフトウェアの追加
当社が推奨または許諾するソフトウェア以外をダウンロードしたりインストールしないでください。
- ・ ネットワークへの接続
接続するネットワークは，ウイルス感染への対策を施したネットワークを使用してください。

はじめに

MX900020A 画面表示ソフトウェア(以下、本ソフトウェア)を使用すると、パーソナルコンピュータをプロジェクタなどに接続して、MT9082A/B/C または MT9082A2/B2/C2 に表示されている画面を複数の人に画面を見せ、GUIの操作説明などをすることができます。



目次

| | |
|--|------------|
| 安全情報の表示について | iii |
| はじめに | I |
| 第 1 章 概要 | 1-1 |
| 1.1 製品の説明 | 1-2 |
| 1.2 構成 | 1-3 |
| 1.3 仕様 | 1-4 |
| 第 2 章 インストール | 2-1 |
| 2.1 準備 | 2-2 |
| 2.2 USB ドライバのインストール (Windows XP) | 2-4 |
| 2.3 USB ドライバのインストール (Windows 7) | 2-6 |
| 2.4 スタートメニューへの登録 | 2-10 |
| 2.5 ソフトウェアのアンインストール | 2-12 |
| 第 3 章 使用方法 | 3-1 |
| 3.1 本ソフトウェアを使用する前に | 3-2 |
| 3.2 使用方法 | 3-4 |
| 3.3 バージョンの確認方法 | 3-6 |
| 3.4 エラーメッセージ | 3-7 |

付録 A ソフトウェアライセンスについて A-1

1

2

3

付録

ここでは、本ソフトウェアの概要、構成および仕様について説明します。
記載されている画面は MT9082A/B/C を例に説明しています。

| | | |
|-----|-------------|-----|
| 1.1 | 製品の説明 | 1-2 |
| 1.2 | 構成 | 1-3 |
| 1.3 | 仕様 | 1-4 |

1.1 製品の説明

MX900020A 画面表示ソフトウェアは、MT9082 シリーズ アクセスマスタの画面を USB ケーブル経由でパーソナルコンピュータに表示するソフトウェアです。

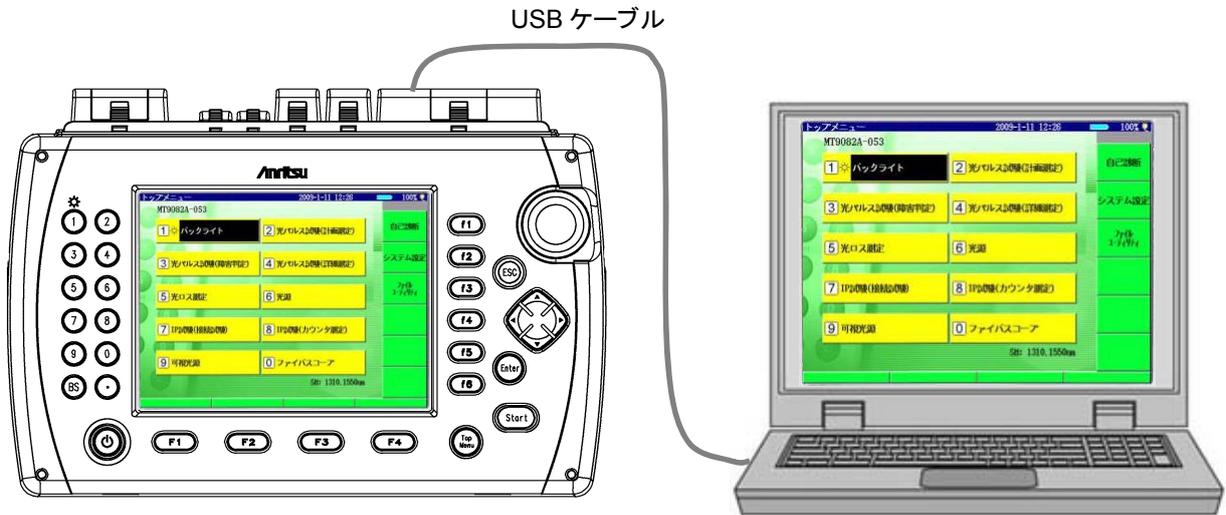


図1.1-1 本ソフトウェアの使用例

本ソフトウェアは Windows XP および Windows 7 (32 bit)の日本語版で動作します。

本ソフトウェアを使用することにより次が可能になります。

- Windows 画面における波形の画像データの保存
- リモートデスクトップ機能による遠隔監視

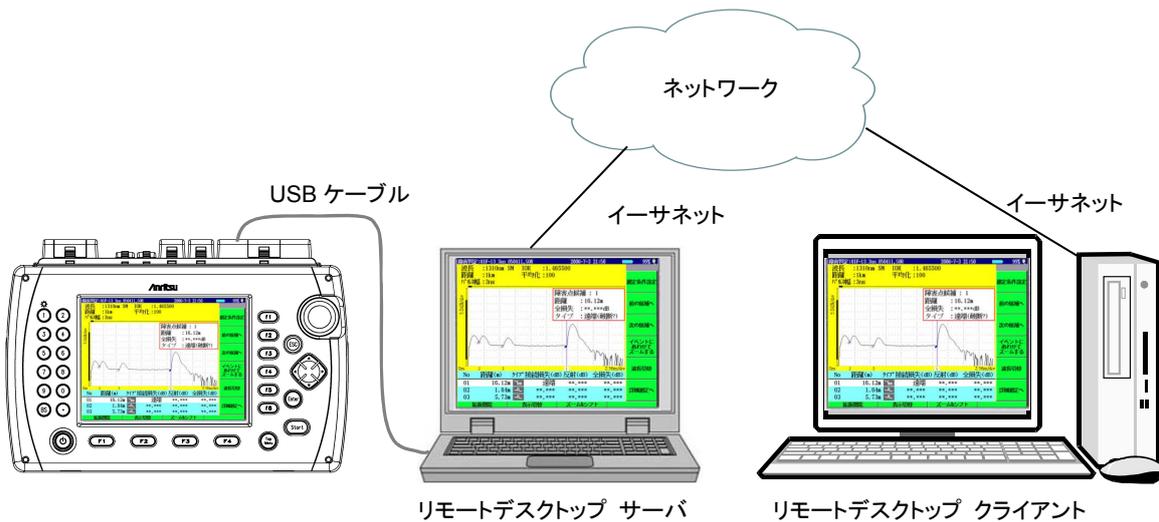


図1.1-2 リモートデスクトップによる遠隔監視の例

1.2 構成

製品構成を次の表に示します。

本製品は、MT9082 シリーズ アクセスマスタに標準添付の CD-ROM に同梱されます。

表1.2-1 構成品

| 形名／オーダリング番号 | 品名 |
|-------------|---------------------------|
| MX900020A | 画面表示ソフトウェア |
| W3319AW | MX900020A 画面表示ソフトウェア取扱説明書 |

CD-ROM には MX900020A のフォルダがあり、次のフォルダとファイルが記録されています。

MX900020A

Exe

MX900020A 画面表示ソフトウェア.exe

usbcom.dll

Driver

libusb0.dll

libusb0.inf

libusb0.sys

1.3 仕様

本ソフトウェアの動作環境と制限事項は次のとおりです。

表1.3-1 動作環境

| 項目 | 仕様 |
|-----------------------------|---|
| 対応 OS | Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2 (SP2) 以降 日本語版 Microsoft Windows 7 (32 bit) Service Pack 1 (SP1) 以降 日本語版 |
| 画面の解像度 | 800×600 以上 |
| インタフェース | USB 1.1 または 2.0 |
| ハードディスク空き容量 | 15 MB 以上 |
| MT9082A/B/C のソフトウェアバージョン | 4.03 以降 |
| MT9082A2/B2/C2 のソフトウェアバージョン | 1.00 以降 |

制限事項

- ・ 本ソフトウェアで通信できるアクセスマスタは 1 台までです。
- ・ 本ソフトウェアには、画面のキャプチャ・印刷機能はありません。
- ・ 本ソフトウェアの画面から、アクセスマスタは操作できません。
- ・ A-B タイプの USB ケーブル以外は使用できません。

第2章 インストール

ここでは、本ソフトウェアのインストール方法とアンインストール方法を説明します。
記載されている画面は MT9082A/B/C を例に説明しています。

| | | |
|-----|-----------------------------------|------|
| 2.1 | 準備 | 2-2 |
| 2.2 | USBドライバのインストール (Windows XP) | 2-4 |
| 2.3 | USBドライバのインストール (Windows 7) | 2-6 |
| 2.4 | スタートメニューへの登録 | 2-10 |
| 2.5 | ソフトウェアのアンインストール | 2-12 |

2.1 準備

必要な設備

本ソフトウェアのインストールには、以下が必要です。

- ・ アクセスマスタ
ファームウェアバージョン 4.03 以上の MT9082A/B/C
または、
ファームウェアバージョン 1.00 以上の MT9082A2/B2/C2
- ・ USB ケーブル（周辺機器接続用 USB A プラグ – USB B プラグ 形式のもの）

注:

PC へ USB ドライバをインストールする際、PC の管理者権限が必要になります。

インストールの手順

下記の順に作業します。USB ドライバのインストール時にアクセスマスタと通信しますので、インストールの前にアクセスマスタを画面出力モードに切りかえます。

- ・ アクセスマスタを画面出力モードに切りかえる
- ・ USB ドライバのインストール
- ・ スタートメニューへの登録

アクセスマスタを画面出力モードに切りかえる

1. アクセスマスタの電源を入れます。
2. MT9082A2/B2/C2 の場合は、手順 3 へ
トップメニューで **[f1]** キーを押して自己診断を表示します。ファームウェアバージョンが 4.03 以上であることを確認します。
4.03 以上でない場合は、最新のファームウェアを安リツ株式会社のホームページから入手してください。
<https://www1.anritsu.co.jp/Download/MService/Login.asp>
ファームウェアのバージョンアップ方法は、『MT9082 シリーズ アクセスマスタ取扱説明書』の「第 14 章 測定以外の機能进行操作する」を参照してください。
3. トップメニューで **[f2]** キーを押してシステム設定を表示します。
4. **[f1]** キーを押して一般設定を表示します。
5. [パソコンと接続時の動作] を [画面出力] に設定します。

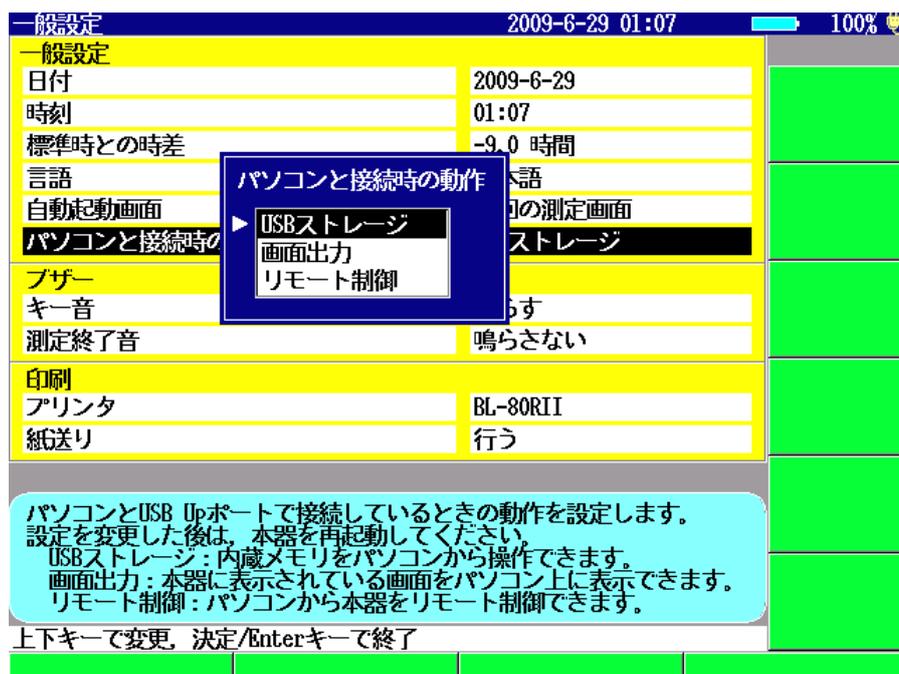


図2.1-1 一般設定画面

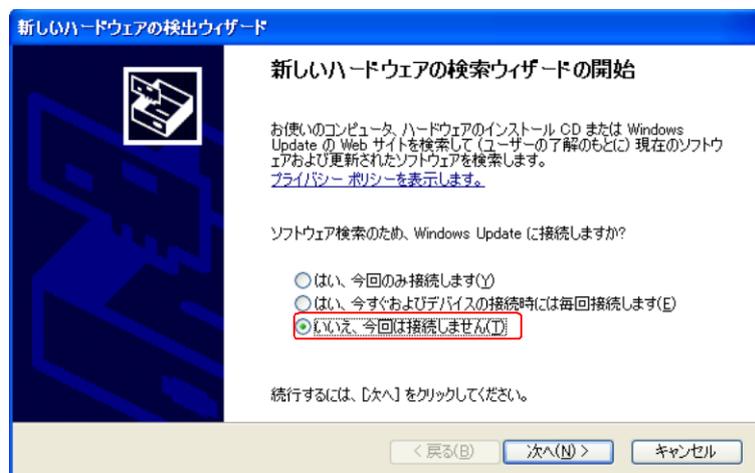
注:

[パソコンと接続時の動作] を [画面出力] に設定すると、パーソナルコンピュータからアクセスマスタの内蔵メモリにアクセスできません。

2.2 USBドライバのインストール (Windows XP)

ここでは、Windows XP を例に USBドライバのインストール方法を説明します。

1. CD-ROM の MX900020A フォルダをパーソナルコンピュータにコピーします。
2. アクセスマスタとパーソナルコンピュータの電源を入れて、USB ケーブルで接続します。
アクセスマスタはあらかじめ「2.1 準備」を参照して画面出力モードにしておきます。
3. 上の環境でケーブルが接続されると、[新しいハードウェアの検索ウィザード] 画面が表示されます。

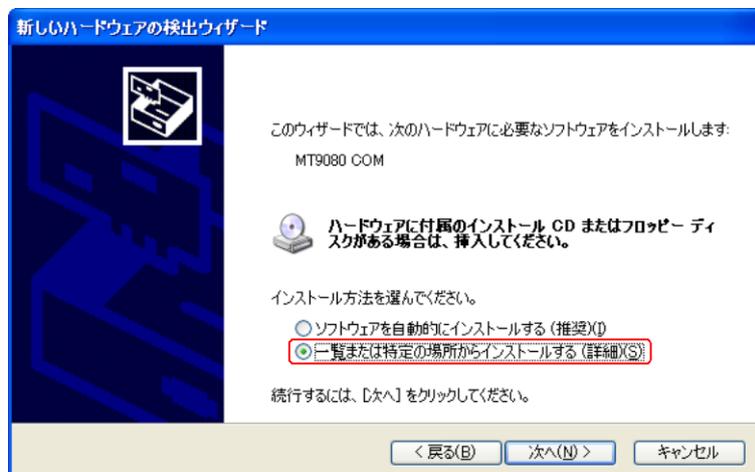


4. [いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックします

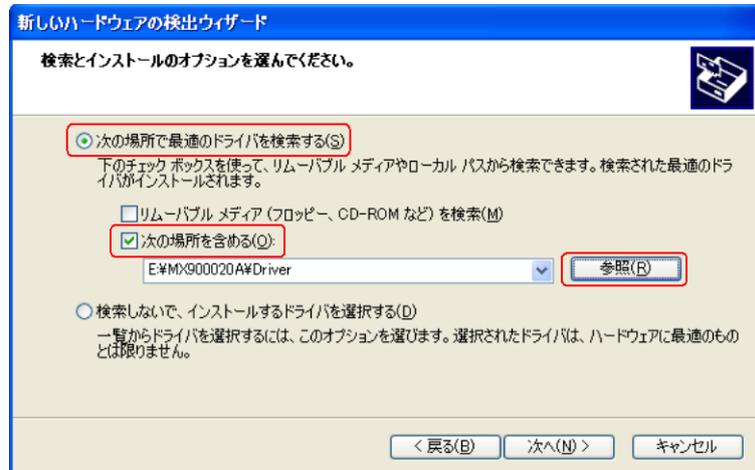
注:

Windows XP のバージョンによっては、上記の画面が表示されないことがあります

5. インストール方法選択画面が表示されます



6. [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)] を選択して, [次へ] をクリックします。
7. [検索とインストールのオプションを選んでください] 画面が表示されます。



8. [次の場所で最適なドライバを検索する] を選択し, [次の場所を含める] のチェックを入れます。手順1で保存したMX900020A フォルダにあるDriverフォルダを指定します([参照] をクリックするとフォルダが選択可能になります)。
9. その後 [次へ] をクリックします。この後, ドライバのインストールが実行されます。



10. 完了のメッセージが表示されれば OK です。[完了] をクリックして終了します。

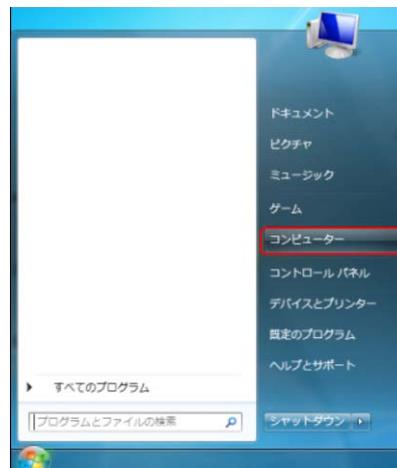
2.3 USBドライバのインストール (Windows 7)

ここでは、Windows 7 32ビット版を例にUSBドライバのインストール方法を説明します。

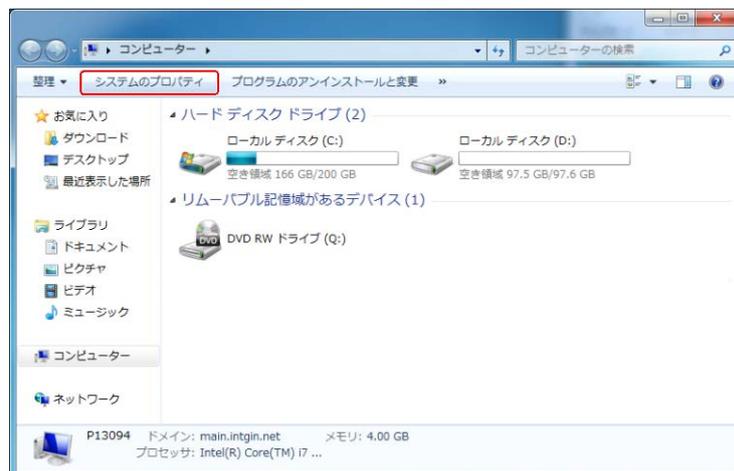
1. CD-ROM の MX900020A フォルダをパーソナルコンピュータにコピーします。
2. アクセスマスタとパーソナルコンピュータの電源を入れて、USB ケーブルで接続します。

アクセスマスタはあらかじめ「2.1 準備」を参照して画面表示モードにしておきます。

3. [スタートメニュー] から [コンピューター] をクリックします。



4. [システムのプロパティ] をクリックします。



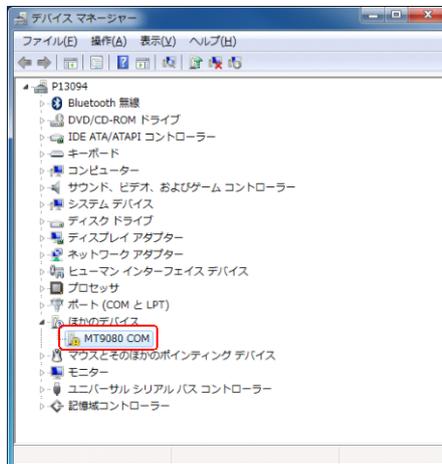
5. [デバイスマネージャー] をクリックします。



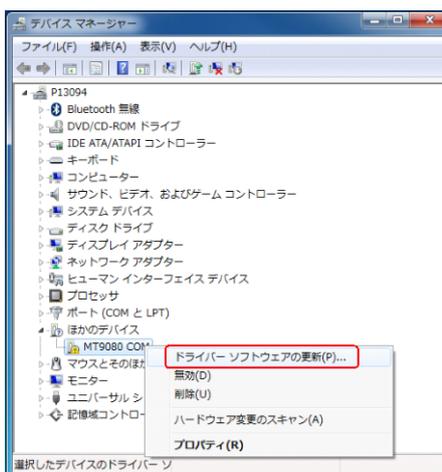
2

インストール

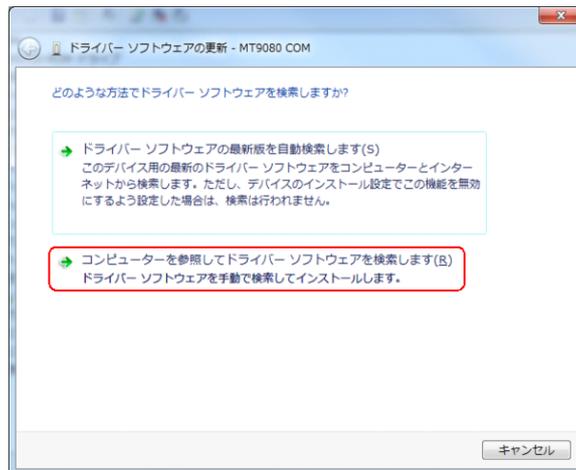
6. デバイスマネージャーに MT9080 COM が表示されることを確認します。



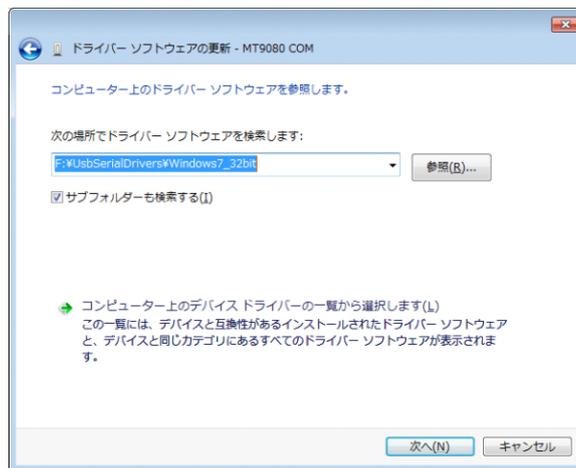
7. [MT9080 COM] を右クリックし、[ドライバーソフトウェアの更新] を選択します。



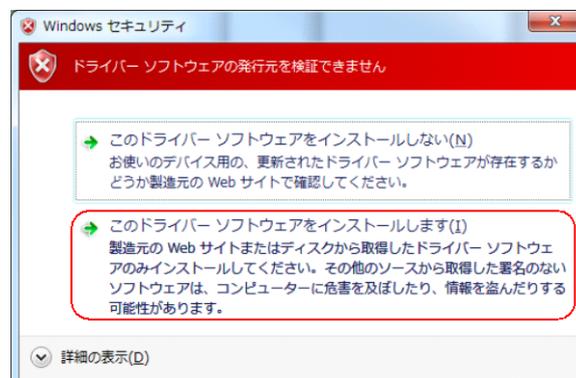
8. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。



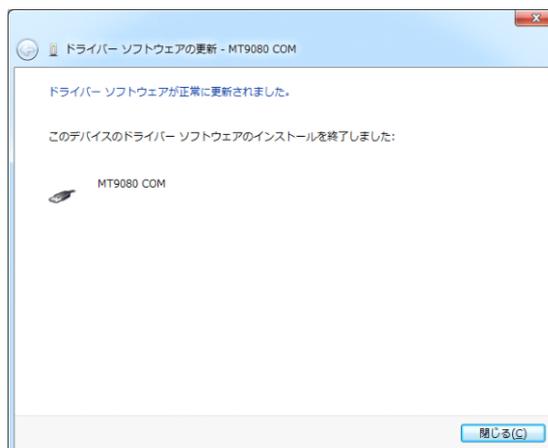
9. 手順 1 で保存した MX900020A フォルダにある Driver フォルダを指定します([参照] をクリックするとフォルダが選択可能になります)。



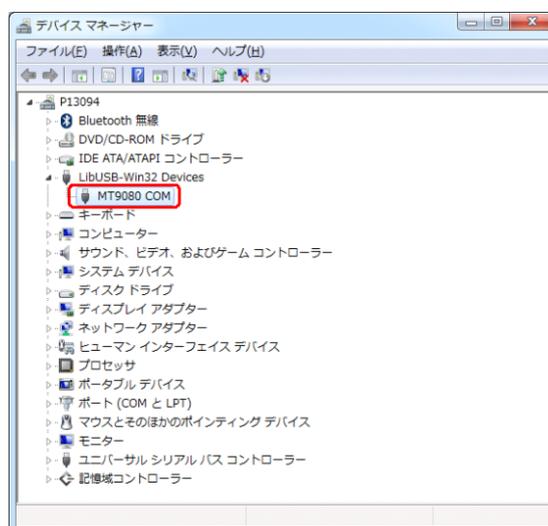
10. その後 [次へ] をクリックします。この後、ドライバのインストールが始まります。
11. インストールの確認画面が表示されたら [このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。



12. 完了のメッセージが表示されれば OK です。[閉じる] をクリックして終了します (パソコンの再起動を要求された場合は再起動してください)。



13. [LibUSB-Win32 Devices] の下に MT9080 COM が表示されます。



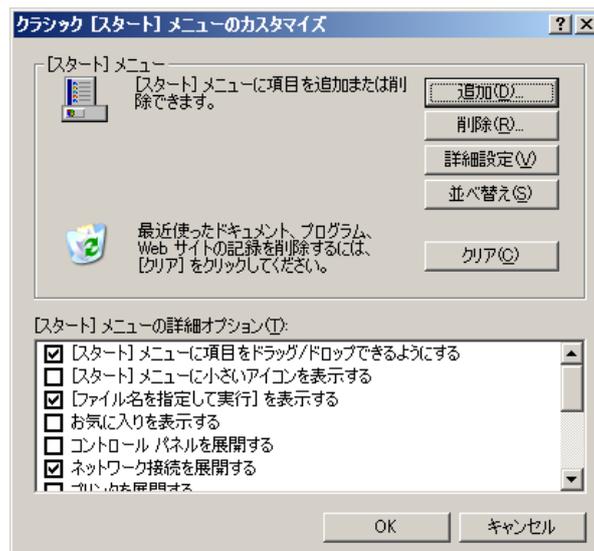
2.4 スタートメニューへの登録

「2.2 USBドライブのインストール (Windows XP)」の手順 1 でコピーしたファイルを、Windows のスタートメニューに登録します。

1. Windows のスタートメニューから、コントロールパネルを選択します。
2. タスクバーと [スタートメニュー] をダブルクリックします。

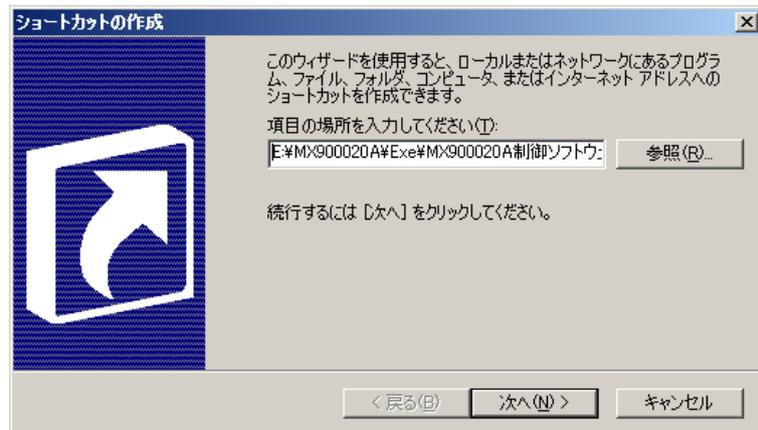


3. [スタート] メニュータブをクリックします。
4. クラシック [スタート] メニューをチェックして [カスタマイズ] をクリックします。

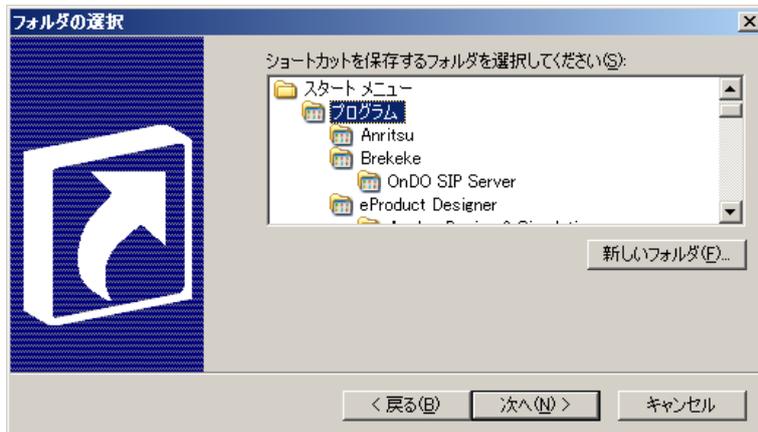


5. [追加] をクリックします。

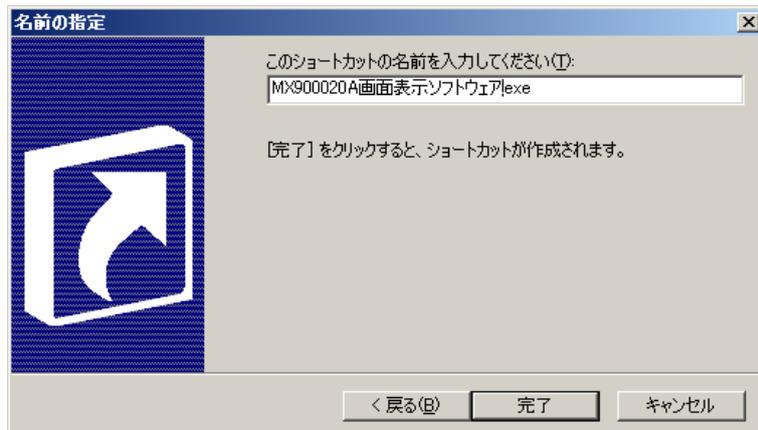
- 参照ボタンをクリックして、「2.2 USB ドライバのインストール (Windows XP)」の手順 1 で保存した MX900020A フォルダの中にある MX900020A 画面表示ソフトウェア.exe を設定します。



- [次へ] をクリックします。



- フォルダを選択して [次へ] をクリックします。



- スタートメニューに表示する名称を入力して、[完了] をクリックします。
- スタートメニュープログラムが登録されていることを確認します。

2.5 ソフトウェアのアンインストール

アンインストールの手順

下記の順に作業します。USBドライバのアンインストール時にアクセスマスタと通信しますので、インストールの前にアクセスマスタを画面出力モードに切りかえます。

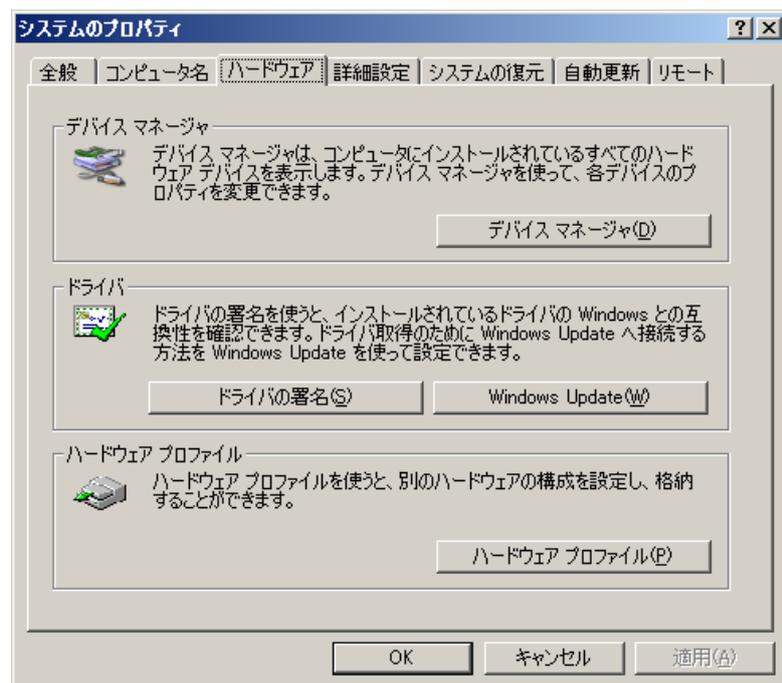
- USBドライバのアンインストール
- スタートメニューのショートカットの削除

USBドライバのアンインストール手順

1. アクセスマスタとパーソナルコンピュータの電源を入れて、USB ケーブルで接続します

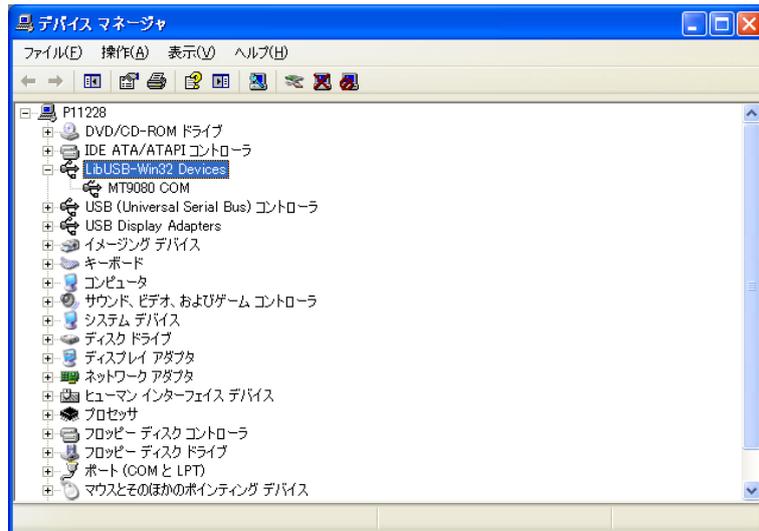
アクセスマスタはあらかじめ 2.1 を参照して画面出力モードにしておきます。

2. Windows のスタートメニューからコントロールパネルをクリックします。
3. [システム] をダブルクリックします。
4. [ハードウェア] タブをクリックします。

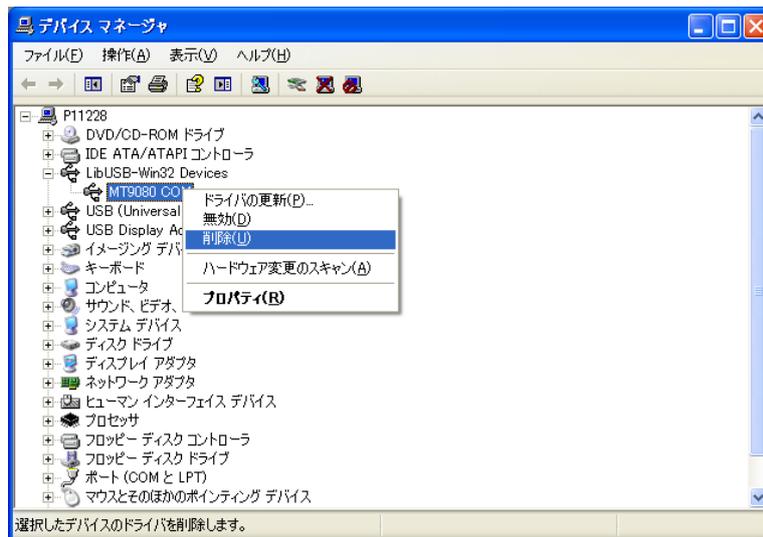


5. [デバイスマネージャ] をクリックします。

6. LibUSB-Win32 Devices をダブルクリックします。



7. MT9080 COM を右クリックし、[削除] をクリックします。



8. デバイスの削除の確認が表示されますので、[OK] をクリックします。



9. LibUSB-Win32 Devices が削除されたことを確認します。
10. デバイスマネージャ、システムのプロパティなど開いている画面を閉じます。
11. アクセスマスタと接続している USB ケーブルを外します。

スタートメニューのショートカット削除手順

1. 2.4 で登録したスタートメニューのショートカットを右クリックします。
2. [削除] をクリックします。
3. ファイルの削除の確認が表示されますので、[はい(Y)] をクリックします。

ここでは、本ソフトウェアを使用するためのアクセスマスタとの接続方法と、本ソフトウェア方法の使用方法について説明します。

記載されている画面は MT9082A/B/C を例に説明しています。

| | | |
|-------|---------------------|-----|
| 3.1 | 本ソフトウェアを使用する前に..... | 3-2 |
| 3.1.1 | アクセスマスタと接続する..... | 3-2 |
| 3.1.2 | アクセスマスタと切断する..... | 3-3 |
| 3.2 | 使用方法..... | 3-4 |
| 3.3 | バージョンの確認方法..... | 3-6 |
| 3.4 | エラーメッセージ..... | 3-7 |

3.1 本ソフトウェアを使用する前に

3.1.1 アクセスマスタと接続する

手順

1. アクセスマスタの電源を入れます。
2. MT9082A2/B2/C2 の場合は、手順 3 へ
 トップメニューで **[f1]** キーを押して自己診断を表示します。ファームウェアバージョンが 4.03 以上であることを確認します。
 4.03 以上で無い場合は、最新のファームウェアを安リツ株式会社のホームページから入手してください。
<https://www1.anritsu.co.jp/Download/MService/Login.asp>
 ファームウェアのバージョンアップ方法は、『MT9082 シリーズ アクセスマスタ取扱説明書』の「第 14 章 測定以外の機能を操作する」を参照してください。
3. トップメニューで **[f2]** キーを押してシステム設定を表示します。
4. **[f1]** キーを押して一般設定を表示します。
5. [パソコンとの接続時の動作] を [画面出力] に設定します。
6. アクセスマスタの電源を切り、再度電源を入れます。
7. USB ケーブルでアクセスマスタとパーソナルコンピュータを接続します。

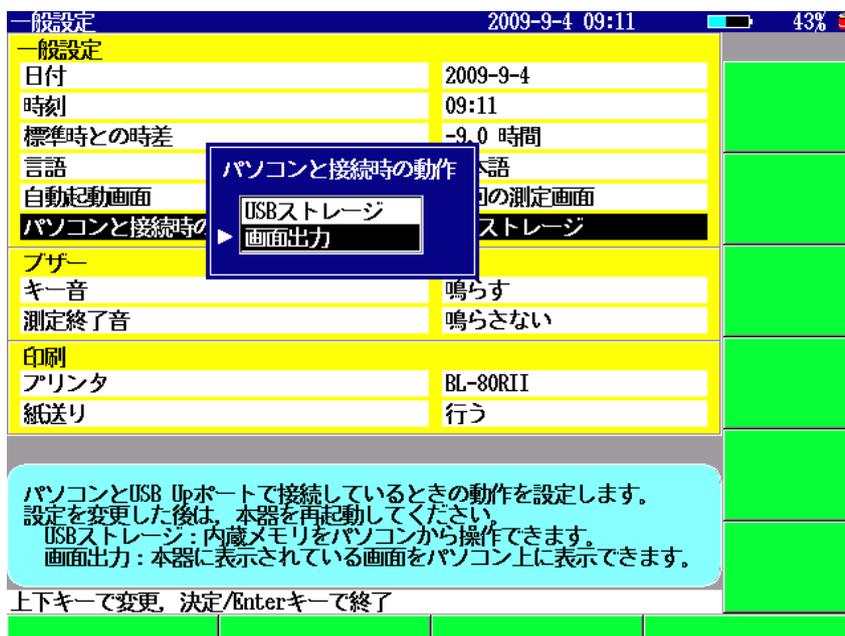


図3.1.1-1 一般設定画面

注:

[パソコンと接続時の動作] を [画面出力] に設定すると、パーソナルコンピュータからアクセスマスタの内蔵メモリにアクセスできません。

3.1.2 アクセスマスタと切断する

手順

1. 本ソフトウェアを終了します。
2. パーソナルコンピュータから USB ケーブルを外します。

注:

アクセスマスタの [パソコンと接続時の動作] を [画面出力] に設定して USB ケーブルを接続したときは、パーソナルコンピュータに「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンは表示されません。

3.2 使用方法

起動するには

1. 「2.2 USB ドライバのインストール (Windows XP)」の手順 1 でコピーした MX900020A フォルダの中の Exe フォルダにある MX900020A 画面表示ソフトウェア.exe をダブルクリックします。
2. 画面が表示されます。
エラーが表示されたときは、USB ケーブルの接続とアクセスマスタの設定を確認してください。

注:

動作中、MT9082A/B/C の画面に黒い横縞が発生しますが、これはパーソナルコンピュータが画像を取得しているためで、故障ではありません

表示を一時停止するには

1. 画面をクリックすると 画面左上に STOP ボタンが表示されます。
2. STOP ボタンをクリックします。タイトルバーに「MX900020A 画面表示ソフトウェア -停止中-」と表示されます。



図3.2-1 STOP ボタンの表示例

STOP のボタンを消すには、画面をクリックします。

表示の一時停止を解除するには

1. 表示を一時停止しているときは、START ボタンが表示されます。
2. START ボタンをクリックします。タイトルバーに「MX900020A 画面表示ソフトウェア -取得中-」と表示されます。

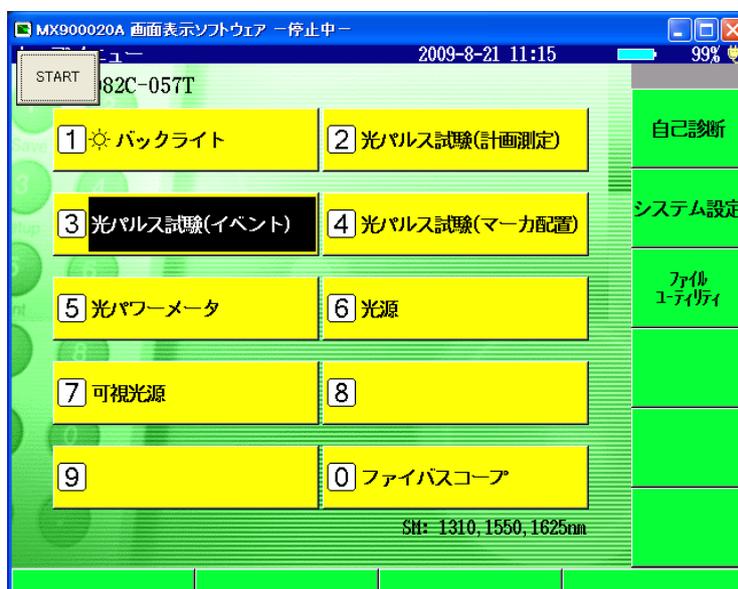


図3.2-2 START ボタンの表示例

START ボタンを消すには、画面をクリックします。

ウィンドウのサイズを変更するには

1. 画面の角をドラッグします。

終了するには

1. 次のいずれかの方法で終了します。
 - ・ 画面右上の閉じるボタンをクリックする。
 - ・ タイトルバーを右クリックして、閉じるを選択する。
 - ・ タスクバーの MX900020A を右クリックして、閉じるを選択する。
2. 終了確認のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックします。



図3.2-3 終了確認ダイアログ

3.3 バージョンの確認方法

1. Windows のスタートメニューからエクスプローラを起動します。
2. 「2.2 USBドライバのインストール (Windows XP)」の手順 1 で、本ソフトウェアをコピーしたフォルダを開きます。
3. MX900020A 画面表示ソフトウェア.exe のプロパティを表示します。
4. プロパティのバージョン情報タブをクリックします。
5. ファイルバージョンの表示を確認します。

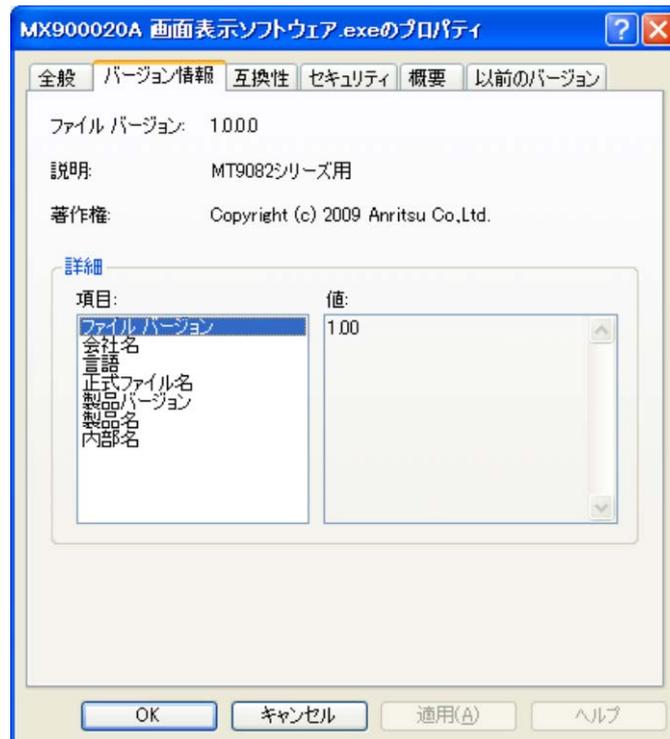


図3.3-1 プログラムのバージョン表示

3.4 エラーメッセージ

本ソフトウェアのエラーメッセージは次のとおりです。

表3.4-1 エラーメッセージ

| メッセージ | 原因 |
|---|---------------------------------------|
| <p>アクセスマスタが見つかりません 次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルコンピュータとアクセスマスタが USB ケーブルで正しく接続されていますか? ・ アクセスマスタの設定が画面出力になっていますか? | <p>本ソフトウェア起動時にアクセスマスタを検出できませんでした。</p> |
| <p>アクセスマスタと通信できません USB ケーブルの接続状態とアクセスマスタの設定を確認してください。</p> | <p>表示の一時停止解除時にアクセスマスタを検出できませんでした。</p> |
| <p>アクセスマスタからデータを取得できませんでした USB ケーブルの接続を確認してください</p> | <p>画面表示中にアクセスマスタとの通信が途絶えました。</p> |

3

使用方法

アクセスマスタと通信できないときは、タイトルバーに「MX900020A -通信不可-」と表示されます。



図3.4-1 アクセスマスタと通信できないときの表示例

付録 A ソフトウェアライセンスについて

本製品は、以下の表に示すソフトウェアを含んでいます。

本件に関するお問い合わせ先は、アンリツ株式会社のホームページを参照してください。<http://www.anritsu.com>.)

下記表のパッケージソフトウェアは、当社のソフトウェア使用許諾の対象外です。

表 A-1 パッケージ名とライセンスの関係

| パッケージ名 | ライセンス | 備考 |
|---------------------|-----------|----|
| libusb-win32- | GPL (*1) | |
| device-bin-0.1.10.1 | LGPL (*2) | |

(*1) GPL:

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston,
MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that

redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is

derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source

code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License

and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status

of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief
idea of what it does.> Copyright (C) <year>
<name of author>
```

```
This program is free software; you can redistribute
it and/or modify it under the terms of the GNU
General Public License as published by the Free
Software Foundation; either version 2 of the
```

License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

(*2) LGPL:

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA
02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy,

distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant,

the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to

the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or

distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters,

data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer

equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!